

今日は、のどの痛みや37度台の発熱で早退した児童が複数いました。福島市では、手足口病による医療機関の受診者が増加しているとの報道がありました。本校では、今週は0~2名/日、増加している状況はありません。十分な睡眠と休養、体調が悪い時には速やかに医療機関の受診を！  
今月下旬には5年の宿泊学習、6年の修学旅行が予定されています。秋本番の体調管理をお願いします。

家庭と学校ががっちり手を繋ぐ2年目に

## 一歩先の未来を見つめ、体験を伴った深い学びを。

今日の3・4校時、5年生3クラスの社会科では「私たちの生活と工業生産」の単元の中の学習の一つとして水素自動車出前学習を行いました。講師は、トヨタ自動車の方々、水素製品開発部の技術者の方や営業本部長の方もいらっしゃいました。

音楽室会場では、自動車の開発から製造、そして販売、メンテナンスまでの一貫した仕組みや車作りの理念等についてもお話をいただきました。

体育館では、小さな燃料電池と水素タンク、そしてモーターが組み込まれたミニカーがたくさん準備されていました。子どもたちは、説明を受けながら、自分たちの手で燃料電池とモーターをつなぎ、そこに水素タンクをセットしてミニカーを走らせていました。



身近なものになるにはまだまだ時間がかかると思っていたテクノロジーでしたが、こうして体験する子どもたちの様子を見て、「子どもたちが大人になる頃には、ごく当たり前のものになっているのかも？」と感じました。



体育館の外には、燃料電池車（水素自動車）や自動運転（自動駐車システム）搭載の電気自動車の本物が駐めてあり、実物を見たり、触ったり、実際に運転手のハンドル操作なしで自動で駐車する車に乗って体験をすることができました。

子どもたちの中には、高い関心を示し、いろんなことを聞きまくっている子もいたり、将来はトヨタ自動車で働きたいという思いを伝えたりする子もいました。

今回は社会の授業での学習でしたが、自分の興味関心を知ったり、将来の夢や目標につながったりするなど、キャリア教育や、電気の働きを知るという理科の学習ともつながりのある2時間の貴重な体験活動となりました。



学校教育では、これまで受け継がれてきた文化や学問の伝達も大切な要素ですが、20~30年先を見通した学びも、子どもたちの未来に向けて

はとても大切な中身だと感じた活動となりました。

## 「秋の陽はつるべ落とし」 我が家の憲法・我が家の常識として、帰宅後の遊びのマナー・ルールや帰宅時刻等をご指導・ご確認下さい

今日の福島市の日没時刻は午後5時06分です。陽が落ちてから少しの間は明るさも残りますが、あっという間に真っ暗になってしまう季節になりました。

本校では子どもたちの安全面から、帰宅時刻を指導しています。4~10月は午後5時、11~3月は午後4時ですが、詳細や運用については、帰宅後のことですのであくまでご家庭でご指導をお願いします。また、友だち

と放課後に遊ぶ時、友だちの家に遊びに行く時等のルールやマナーもご家庭での指導をお願いします。(例)子どもだけしかない時には、よその家には上がらない等。

子どもはよく「みんな・・・だから」と口にします。そんな時は親として、「あなたはウチの子です。我が家のルール、常識、マナーを守りなさい。」と毅然とした態度で言える子育てをしていきましょう！